

2025年春の叙勲 旭日双光章受章記念特集 宮城県建築士事務所協会会長 高橋清秋氏

被災者に寄り添う使命感 希望持てる 建築士の地位向上

宮事協では2003年から理事を務め、18年からは会長に就いている高橋氏。建築士として技術の研さんを重ね、告示に基づいた設計、構造図がそのまま施工図になる画期的な設計に取り組んできた。若手の育成にも尽力し、数々の功績により宮城県から推薦され、旭日双光章を受章した。この受賞について高橋氏は「個人というより、協会の受章を会長の私が代表して受けたようなもの」と話し、多くの正会員、賛助会員に支えられてきたことに謝意を示した。

忘れられない 震災対応

建築士として多くの設計・監理に関わってきた出来事はもちろんだが、高橋氏はこれまでの足跡を振り返り、忘れられない出来事として東日本大震災の対応を挙げた。

高橋氏は当時、宮事協では災害対応を担当する副会長だった。大地震の発生後に協会事務所に駆けつけると、室内は書棚が倒れ、書類が散乱していた。停電したままの部屋では信号が消え、道路は車で渋滞。陽が落ち始めたころに降ってきた雪が記憶に残っているという。



2011年3月15日 仙台市応急危険度判定始まる



2018年 高橋会長が携わった仙台市岡田避難ビル

宮城県建築士事務所協会（宮事協）の会長を務めている高橋清秋氏（高橋建築設計事務所代表取締役）が、2025年春の叙勲で旭日双光章を受章した。長年、建築設計の分野で活躍し、建築設計監理業の振興に貢献したことが認められての受賞となった。特に災害の現場では、被災した住宅の応急危険度判定に携わり、被災者の住宅再建に寄り添ってきた。建築士としての社会的使命、そして建築士の魅力について、高橋氏に聞いた。



集まり、対応を協議した。指示を仰ぐために宮城県庁に駆け付けると、県庁内は避難者であふれ返っていた。停電でエレベーターが止まり、避難者をかき分けたが階段を上って土木部の担当課を目指したという。市町村からは、応急危険度判定の要望がほとんど寄せられた。会員企業をまとめて、それからは協会事務所に詰めて対応に当たった。日本建築家協会東北支部、宮城県建築士協会とも連携し、まずは仙台市内の被災家屋から判定を始めた。宮城

被災地では、被災者の生活に寄り添うことが求められる。被災者は、強い思い入れがある。被災者が普通の生活に戻るためには、最も優先されるべきものは住宅の再建。衣食住のうちの「衣」と「食」が足りたとしても、住むところがしっかりしないと普通の生活に戻れない」と信念を持っている。

被災地では、被災者の生活に寄り添うことが求められる。被災者は、強い思い入れがある。被災者が普通の生活に戻るためには、最も優先されるべきものは住宅の再建。衣食住のうちの「衣」と「食」が足りたとしても、住むところがしっかりしないと普通の生活に戻れない」と信念を持っている。



2004年10月 新潟県中越地震 支援メンバー

Table listing the board members and staff of the Miyagi Prefecture Association of Architects, including names like Takahashi Kiyohiko and various regional representatives.

高橋清秋氏の旭日双光章受章を心よりお祝い申し上げます (五十音順)

A collection of advertisements for various architectural and construction firms in the Miyagi region, including companies like AIA, Abe Coating, and others.

このたび一般社団法人宮城県建築士事務所協会会長の高橋清秋様が令和7年春の叙勲の栄に浴されたことに対して心よりお祝い申し上げます。



祝辞

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長 上野浩也

高橋会長におかれましては、昨年度から連合会の理事に就任していただき、業務報酬及び官庁発注検討ワーキンググループの査閲として、業務報酬基準と官庁発注の在り方を検討していただいております。特に地方公共団体が発注する設計及び工事監理業務の低入札の防止に関しましては、宮城県で長年調査

これが高橋会長が長年、全身全霊をかけて業界発展のために尽力されてきた賜物であることは、会員の皆さまをはじめ、業界の皆さまが一番存じのことだと思います。高橋会長におかれましては、昨年度から連合会の理事に就任していただき、業務報酬及び官庁発注検討ワーキンググループの査閲として、業務報酬基準と官庁発注の在り方を検討していただいております。特に地方公共団体が発注する設計及び工事監理業務の低入札の防止に関しましては、宮城県で長年調査

業界の低入札を問題視 物価高騰の影響を受ける以前から、建築設計業界を取り巻く環境は厳しい状態が続いている。公共事業の入札・契約では、いまだに予定価格の設定が低く、このままでは業界全体が危機に陥りかねない。若い建築士が希望を持って設計に打ち込んでいくためにも、利益が得られるための体質改善は喫緊の課題だ。「建設関連業務の入札・契約では、全国の市町村を中心に約40割の発注機関が最低制限価格の制度を導入していない」と高橋氏は現状を嘆く。

政府からは市町村に対して指導することが伝えられ、高橋氏は今後の改善を期待している。 「一から手掛ける 建築士の魅力」 そもそも高橋氏が建築士を志したきっかけは、高校生だった55年前に大阪万博を訪れたことだった。「病気を患って修学旅行に行けなかった代わりに、親が大万博に行かせてくれた。そこで見た夢のような建築物に感銘を受けた」と回想する。会場には日本の和風のパビリオンをはじめ、その国を象徴する独特のパビリオンがあった。「スイス館は木の枝に無数の照明が付いた光の塔だった」と思い起こす。そのような建築物をどうやって作るのか、ふと思いついた疑問が、建築士を目指す道の始まりだった。



2004年10月 新潟県中越地震 支援者宅で会議



2023年8月29日 名取市から災害復興モデルハウス贈呈し感謝状を受ける

同じような感動を、若い世代にも伝えたいと願っている。最近では建築設計の業界で若い女性建築士の活躍が目立ち、次世代の担い手として期待されている。建築を学ぶ大学生・高校生らを対象に、宮事協が開催しているみやぎ建築未来賞でも、女子学生・女子高生の活発な提案が多い。将来を任せられる若手の台頭に、高橋氏は目を細める。建築士の魅力について高橋氏は「ものを作る時にゼロから積み上げていく仕事。最初のことろを担える仕事だ」と語る。真っ

白なキャンパスに絵を描き、形を作っていくのが建築士の醍醐味だと力説する。 ただし、建築士はそう簡単になれるものではないことも事実。難関の1級建築士の資格取得は、試験に合格した後4年間の実務経験が必要に過ぎない。また、医師や看護師の収入の半分程度という厳しい現実もある。難しい試験をパスしたとしても、実際に合格者が建築士として登録するかどうかは別問題なのだ。



2014年12月12日 仙台地方裁判所専門訴訟事件研究会 建築設計監理講師

高橋氏は、建築士が資格に見合った収入を得られるよう、地位の向上に力を注いでいる。自ら歩んできた道のりも決して平坦ではなかったが、夢を形にできる建築士の魅力を若者にこう語りかける。「資格を取るのには難しけれども、先には、夢のある楽しい世界が広がっている」と。次世代を担う若者たちに希望を託すためにも、高橋氏は業界の発展に向けて課題に立ち向かっていく。

高橋氏は、建築士が資格に見合った収入を得られるよう、地位の向上に力を注いでいる。自ら歩んできた道のりも決して平坦ではなかったが、夢を形にできる建築士の魅力を若者にこう語りかける。「資格を取るのには難しけれども、先には、夢のある楽しい世界が広がっている」と。次世代を担う若者たちに希望を託すためにも、高橋氏は業界の発展に向けて課題に立ち向かっていく。



2025年5月14日 叙勲伝達式後

研究された結果を連合会でも積極的に発言され、連合会においても第一人者の地位を確立されています。私が連合会会長に就任させていただいた時に、「地方を元気にしなければ連合会の明日はない」と発言させていただきました。働き方改革や公共工事品確法が施行されている現在、地方を元気にするには、やはり地方の建築士事務所が正当な価格で地方公共団体の設計及び工事監理業務を受注し、同じく地方の施工業者が正当な価格で工事を受注すること、言うなれば地産

地産が確実に実施されることが肝要だと思います。それはまさに高橋会長が長年言い続けて、行動されてきたことでもあります。ワーキンググループは昨年からスタートしたばかりですが、高橋会長にはまだまだご活躍していただき、全国の事務所協会の仲間たちに希望を与えていただきたく思いますので、引き続きよろしくお願いたします。結びに、ご健勝と業界発展のための一層のご活躍を祈念申し上げます。

Table with 2 columns: Year and Achievement. Includes dates from 2005 to 2025 and various roles and awards.

Table with 2 columns: Year and Achievement. Includes dates from 1993 to 2025 and various roles and awards.

Table with 2 columns: Year and Achievement. Includes dates from 1973 to 2025 and various roles and awards.

高橋清秋氏の旭日双光章受章を心よりお祝い申し上げます

(五十音順)

Grid of 50+ advertisements for various construction and architectural firms in Miyagi Prefecture, including companies like Spirit of Place, 昂設計, 図設計, 菅原防水工業, 菅伸建築設計事務所, 真栄互美株式会社, タカラ工業株式会社, 太平電気株式会社, DAIZEN, 仙台コンクリート試験センター株式会社, 仙建工業株式会社, DOHZI, 中央鋼建株式会社, チグリス技研, 株式会社タイルト, TAC 建築設計, タジマ, ナブコシステム株式会社, ナショナルエレベーター工業株式会社, 株式会社都市設計, TOHOKU POLE CORPORATION, TOHOKU FUJIYOSHI, 株式会社東北三興設計事務所, higashiyama design, 株式会社東山設計, 株式会社橋本店, 日本高圧コンクリート株式会社, 日新設計株式会社, ニシマキ・オフィスシステム株式会社, 株式会社東山設計, フルカワ, コジ電子興業株式会社, 株式会社不二サッシ東北, 深松組, BUILD CORPORATION, 株式会社ビルド, 株式会社平塚アルミ工業, 三菱電機株式会社 東北支社, 株式会社松下設計 仙台支社, 株式会社松尾金属株式会社, 株式会社堀心, POLUS-TEC, 株式会社北星設計, WATAKOU 株式会社, YKK AP 株式会社, スチール! & アイデア! ヨドコウ, UR 建築設計, yamadai, MURATA CORPORATION.